

# 公益財団法人 ロッテ財団 2025 年度事業計画

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日まで)

## 【事業の概要】

### I. 奨学事業

奨学事業は財団設立以来 18 年が経過、留学生母国の経済状況、日本の生活水準の変化等環境が大きく変化しており、これを踏まえ 2025 年度は新たな取組を行なう事とした。

- ・ロッテ財団奨学制度魅力向上と募集の優位性を高めるために大学院生の奨学金を月額18万円から20万円にアップする。
  - ・渡日前採択奨学生を大学等入学前採択奨学生に名称を変更し、支援対象を大学生から大学院生まで枠を拡大し、募集国も中国、韓国からベトナム等、東南アジアにも拡大する。
- 上記を踏まえ、事業を計画した。

#### 1. 奨学援助

計 140,000 千円

2025 年度末の在籍予定者数は 60 名とする。奨学生の内訳は以下の通り。

##### (1)一般奨学生

日本の大学で学ぶ主としてアジアからの私費留学生を対象とする。学部生及び大学院生等のうち、志操堅固・学力優秀であり、かつ学業を続けるために経済的援助を必要とする奨学生について、奨学事業選考委員会にて選考のうえ、奨学生を決定する。

継続奨学生と合わせ、年間の奨学生数 48 名とする。

なお、奨学金については、大学生は、月額 18 万円、大学院生は月額 20 万円を原則 2 年間支給する。

##### (2)大学等入学前採択奨学生

日本の大学、大学院等に入学する目的を持って来日する私費留学生を対象とする。年間の奨学生数は12名とする。なお、大学等入学前採択奨学生に対しては、入学に関する準備金として 108 万円を支給する他、来日後、大学等入学までの滞在費、月額 18 万円(総額上限 108 万円) 及び大学等入学から正規就学期間終了するまで奨学金、月額 18 万円(大学生)、20 万円(大学院生)を支給する。

【奨学生採用計画】

対象奨学生	2024年度 実績	2025年度計画			
		新規	継続	合計	前年差
① 一般奨学生	54	16	32	48	-6
② 大学等入学前採択奨学生	13	3	9	12	-1
合 計	67	19	41	60	-7

※入学前採択奨学生については、中国・韓国・ベトナムから各1名程度を採用予定。

なお、2025年度採用予定の一般奨学生については2024年度中に面接審査を実施済み。

2. 交流活動

計 13,120 千円

採用された奨学生を対象に、年4回の交流会を実施し、奨学生と財団間の親睦や交流を図り、日本文化の理解度を高め、奨学生育成の一助とする。奨学生間の交流も促進し、財団を通しての留学生のネットワークを広げる。又、役員・評議員及び奨学事業選考委員等にも出席頂き、事業活動の理解と奨学生への激励の機会とさせて頂く。

3. 事業運営

計 12,210 千円

生活面や勉学状況等を財団が把握するため、関東近郊は財団事務所、遠隔者はオンラインを活用し年数回程度の個人面談を実施し、指導・助言等を行い奨学生との意思の疎通を図る。

また、指定大学と連携し、当財団設立主旨に沿う奨学生の推薦を受け、厳選なる選考を奨学事業選考委員に委ね、多くの地域の留学生に援助を行う。

その他、奨学生間とその家族及び奨学生と財団間との交流に資するため、毎年「交流誌」の発行を行う。

選考費 1,800 千円、給与手当 5,090 千円、印刷製本費 1,580 千円、他 3,740 千円を計上。

合計 165,330 千円(A)

## II. 研究助成事業

### 1. 研究助成金

計 180,000 千円

「研究者育成助成<ロッテ重光学術賞>」については、2022 年度、2023 年度、2024 年度採択者 3 名及び 2025 年度採択予定者 1 名、計 4 名にそれぞれ 15,000 千円合計 60,000 千円を寄附金より助成する。「奨励研究助成」については、2025 年度分<個人研究>32 名 92,000 千円、<グループ研究>2 組 20,000 千円を公益事業積立金より 10,000 千円、寄附金より 102,000 千円を助成する。

また、研究論文作成等の助成については、寄附金より 8,000 千円を助成する。

(単位千円)

助成名称	採択年度	寄附	公益事業積立金取崩
研究者育成助成 (ロッテ重光学術賞)	2022 年度採択者 1 名分	15,000	
	2023 年度採択者 1 名分	15,000	
	2024 年度採択者 1 名分	15,000	
	2025 年度採択者予定 1 名分	15,000	
	小計 4 名分	① 60,000	
奨励研究助成	2025 年度採択予定【個人】 32 名程度	82,000	10,000
	2025 年度採択予定【グループ】 2G 分	20,000	
	小計 32 名 2 グループ分	② 102,000	③ 10,000
研究論文作成等助成	補助予定者 20 名分	④ 8,000	

合計助成予定金額 ①+②+③+④ 180,000 千円

#### 〈研究助成事業の特徴〉

研究者育成助成制度は「食と健康」の分野において、優れた若手研究者がわが国トップクラスの研究者として成長するに相応しい支援を行い、採択者には<ロッテ重光学術賞>として年間 15,000 千円を最長 5 年間支給する。本制度は日本国内では数少ない研究者育成制度である。育成支援教員のもとに、安定した研究の場を確保し、そのために必要な資金を長期に助成する点が大きな特徴である。

一方、奨励研究助成制度は、自然科学及び人文社会科学等の広域科学分野からの先端的研究に専念する優れた若手研究者を対象とした助成制度である。

奨励研究助成は、25 年度募集要項を変更、個人研究助成と共同研究助成の 2 本立てとし、研究対象者別要件募集から研究分野別の募集とし、財団の支援分野を明確にする。

共同研究助成は社会実装に貢献する課題に特化し、分野を横断した研究を支援する。

また、2020年度より研究論文作成・掲載・発表経費助成をおこなっている。

これは、本研究助成制度に既に採択されている研究者を対象に、論文作成・掲載・発表時に掛かる経費に対して助成を行うものであり、これにより既助成者のネットワーク化を推進し、将来的には当財団主催のシンポジウム開催を実現するなど、更なるプレゼンスの向上を実現させるためである。

## 2. 研究助成活動

計 7,000 千円

研究助成活動に関しては、贈呈式や研究発表会等の開催における意見交換や情報収集などを通じて、研究助成事業の質的向上を図るための費用等を計上する。

## 3. 研究助成事業運営

計 26,770 千円

研究助成事業選考委員会開催時の選考費として2,400千円。

公募費として応募告知等で10,000千円、給与手当6,400千円、他7,970千円を計上。

合計 213,770 千円(B)

以上

### 【ご参考】2025年度年間経費計画

① 事業費合計(奨学+研究)	379,100 千円
② 管理費合計	65,400 千円
<hr/>	
経常費用合計	444,500 千円

## 資金調達及び設備投資の見込みについて

### (1) 資金調達の見込み

当期中における借入れ金の予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先を記載してください。

借入れ予定	無し		
事業番号	借入れ先	金額	用途
		0 円	

### (2) 設備投資の見込み

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合は、その内容等を記載してください。

設備投資の予定	有り		
事業番号	設備投資予定	支出又は 収支の予算金額	資金調達方法又は 取得資金の用途
公1	パソコン	462,000 円	寄附による
公2	パソコン	462,000 円	寄附による
管理費	パソコン	924,000 円	寄附による
管理費	Wi-Fi 機器	170,500 円	寄附による

以上